

好循環型社会 春闘で生み出す

賃金水準の改善

公平で
適正な
成果配分

所得増
消費喚起
内需拡大

食品
産業の
発展

誇りを持てる賃金水準を目指して

不景気といわれて久しい日本。

今の日本に必要なのは、賃上げによる所得増⇒消費拡大⇒内需拡大という好循環です。賃上げにより所得が改善されれば、個人消費が活性化され、内需が拡大し、企業の売り上げも伸びます。その結果、日本全体の所得が上がる『好循環型経済』の復活につながり、それは食品関連産業の発展にも寄与することになるはずです。

フード連合は、春闘から好循環型社会を目指します。

5つの 統一要求 課題

- ①賃金（ベア・改善原資含む）の引き上げ
- ②一時金の安定確保
- ③企業内最低賃金の協定化（未締結組合）と水準の引き上げ
- ④労働時間の短縮（「時短2000ゼロ」、割増率等の引き上げ）
- ⑤パート等の組織化と処遇改善

特別 課題

65歳までの雇用・賃金水準の確保および「改正高齢法」への対応

2013春季生活闘争

フード連合
日本食品関連産業労働組合総連合会